

感染拡大の懸念を払しょくできない限り、

東京五輪は

延期か中止を！

コロナ対策にヒト・モノ・カネの集中を。

立憲民主党東京都政策委員（八王子市）

40
歳

立憲民主党
The Constitutional
Democratic Party of Japan

須山たかし

安心・安全の東京オリンピック・パラリンピック——こんな発言を東京都や政府は、根拠を示さないまま繰り返すばかりですが、本当に感染拡大を招かない東京五輪の開催は可能なのでしょうか？世界から変異株が東京に集まり感染が広がり、それが世界に拡散することはないのでしょうか？

数々の疑問に対して、説得力のある説明はまったくありません。先行き不透明なまま、東京五輪開催を強行する、こんな賭けは許されません。

アスリートをはじめ、多くの人々の思いが詰まった東京五輪。なんとか成功させたいという願いは誰もが持っています。

しかし、今は平時ではありません。コロナ感染症という危機に世界中が見舞わ

れています。しかも、五輪は通常のイベントとは、けた違いのヒト・モノ・カネが割かれます。いったんオリンピックが始まってしまうと、パラリンピック終了まで途中で止めることは事実上困難でしょう。

今はコロナ危機から脱するために、あらゆるリスクを排し、あらゆる資源をコロナ対策に集中する時です。感染を拡大させないための確かな対策を示し、感染拡大の懸念を払しょくできない限り、東京五輪は涙をのんで延期、もしくは延期ができれば中止にするしかありません。

私たちは東京都議会で大きな勢力となり、コロナ対策にヒト・モノ・カネを集中していきます。

生命を守り支えあう東京をつくる

私をかわいがってくれた祖父母が眠る都立八王子霊園へ、妻とふたりの息子とともに時々足を運びます。「自分はじいちゃんばあちゃんに胸を張れるような政治家になれているだろうか、困っている誰かのために役立っているだろうか」、手を合わせ目をつぶるわずかな静寂に、自問自答をする一瞬が訪れます。私にとって、自らを見つめ直す、かけがえのないひと時です。

ほんの1年半前まで誰も想像をしえなかったコロナ感染症の拡大で、東京のみならず全世界の常識が今やひっくり返っています。本来はこんな緊急事態でこそ、国民から信頼をされる政治が求められているはずです。

しかし、現実には悲しいかな、元経産大臣がカニ・メロン・香典・現金をばらまき議員辞職へ、カジノ疑獄で裁判中の元国交副大臣もいれば、広島では選挙買収で有罪が確定し、総理長男の汚職接待、総理秘書が書類送検と、昭和さながらの事件が自民党政権下で続発しています。東京でもパフォーマンス優先と揶揄し

たくなるような都知事の振る舞いが目立ち、もはやコロナ感染は第何波かすらわからないほどの有り様です。

各自治体のワクチン接種も混乱に次ぐ混乱でスケジュールは大幅に遅れ、PCR検査の拡充もいつしか曖昧なままで、感染状況の把握がきちんとできているのか疑問です。さらに、不公平でアンバランスなまま「自粛と給付」がいまだにセットになりきれておらず、飲食店をはじめとした事業者の悲鳴が止まりません。いったいこの国の政治はどこまで劣化していくのでしょうか。

立憲民主党は、誰のため何のための政党なのか、一私たちは「自由」と「多様性」を尊重し、支え合い、人間が基軸となる「共生社会」を創り、「国際協調」をめざし、「未来への責任」を果たすことを基本理念とします—と立憲民主党の綱領にあります。今こそこの理念に立ち返り、この街のかたすみで声をあげられずに苦しんでいる人たちにきちんと寄りそい、共に歩んでいく新しい東京都政をここ八王子からつくっていきます。自らの持てる力のすべてを出し尽くす決意です。

須山卓知(たかし)プロフィール

- 1980年(昭和55年)11月生まれ
桐朋小学校・中学校・高校、
早稲田大学社会科学部 卒業
- 特許事務所勤務、参議院議員蓮舫秘書、
政党本部スタッフ等を経て、市議3期
- 家族は、妻・長男・次男・愛犬ボノ
趣味は、スパイスカレーづくりと
ベースを弾くこと(ヘビメタ)



やんちゃ坊主でした



市議会副議長を務めました



LINE 友だち追加



ベース歴は25年



ジャーナリスト 高野 孟

早稲田大学「大隈塾」の1期生で私の教え子だった須山君が、この国を支えるネクストリーダーのひとりとして、東京都政の改革にチャレンジすることに、大きな期待を寄せています。

立憲民主党 須山たかし

1

コロナ禍で、生命と生活を守る

- 「自粛と給付のセット」を当たり前徹底する
- まだまだ受けづらいPCR検査の充実と無料化へ
- 医療体制・保健所体制を強化し、拡充へ
- 10万円以上の定額給付金を実現する

2

地域からのまちづくり

- 都立多摩産業交流センターを有効活用する
- 「サステナブル・リカバリー」の視点で、
東京の新しい成長戦略を進める
- ICT活用で、バリアフリーのまちづくりを推進

3

暮らしを守り、多様性を大切に

- 誰もが受けられる「ベーシックサービス」に向けて、
福祉や介護などの施策を拡充する
- 東京都版パートナーシップ制度を創設する
- ペット殺処分ゼロを継続し、完全な徹底へ
アニマルウェルフェアを大切に適正飼育の推進を

4

未来を担う「人財」のため

- 給付型の奨学金拡充等で子育て世帯の家計を支える
- 保育だけでなく、産前産後ケアの充実で総合的な子育てサポート
- リプロダクティブ・ヘルス/ライツ
(性と生殖の健康/権利)
結婚・子育て・仕事など総合的な人生設計を

立憲民主党

The Constitutional
Democratic Party of Japan